

第二次行政改革大綱修正意見対応表

該当箇所	ご意見	変更案	備考
3 ページ 第2 行政改革の 基本方針	3 つの柱で構成されていることが分かりやすいように、段落番号を付けてはどうか。	各パラグラフの冒頭に、 【量的側面の改善】【質的側面の向上】 【更なる協働の推進】 の小見出し等を入れる。	
6 ページ (2)事務事業の見直し	9 行目「企画立案、管理業務と民間への委託が可能なサービスを分離」 下線部分を読点と入れ替えたほうがよい。	原案どおり	「と」を読点に入れ替えると行政で行うものと民間委託できるものを分離するという意味合いが弱くなってしまったため、このような表現とした。
10 ページ (1)職員数・臨時職員数の見直し	「職員数が抑制される」の中の「抑制」という表現は常套句のように使われているのではないか。	原案どおり	地方分権の進展の中で、国・県から市町村へと権限委譲がなされているが、権限委譲に伴って職員数が増えるわけではないため、このような表現とした。
10 ページ (1)職員数・臨時職員数の見直し	「行政サービスへの要望が多様化する」の中の「多様化」という表現は常套句のように使われているのではないか。	原案どおり	旧町時代と違い、地区ごとの特徴が異なる面もあり、このような表現とした。
12 ページ (2)財政指標の設定	1 行目後段「今後、新庁舎の建設等の大規模事業が実施され、かつ行政の効率化が進まない場合には、財政状況の悪化が懸念される」について、新庁舎を建設するということが、財政悪化に直に結びつかない表現にしたほうがいいのではないか。	「今後、新庁舎の建設に伴い、組織機構のスリム化、業務運営の効率化が図られ、財政の健全化がより一層進むことが期待されます。」に修正する。 修正案に伴い、前文の「良好な水準にあり <u>ま</u> すが、」を「良好な水準にあり、」と併せて修正する。	庁舎建設が前向きに考えられるような文章表現とした。
12 ページ (2)財政指標の設定	別表等でもよいので、中期財政計画の重要な数値はこの大綱に付けたほうがよい。	原案どおり	大綱をホームページ上で公開する際に、中期財政計画へのリンクを貼るなど、公表時の手法に工夫を加える。